

葉山町議会議長 伊東圭介 様

トゥモローランド・ホテルの営業に向けた町道拡幅の早期交渉開始を求める陳情書

1 陳情の主旨

2024年10月18日(金)に行われた近隣住民とトゥモローランド・ホテル関係者の二者協議において、オブザーバーの金崎議員から「葉山町は、ホテルの営業に関してオオノヤ横の県道に出るまでの一方通行の退出側は取付道路と考えており、道路幅員を最低4mは欲しい。よって事業者に用地買収してもらいセツバックをさせたいとの意向を持っている。」と発言がありました。トゥモローランドのホテル計画責任者である佐々木由香取締役からは「葉山町の意向は再三聞いている。努力するための検討をしている。沿道住民との話しはまだしていない」と回答がありました

用地買収の交渉は沿道住民の地権者との信頼関係を構築する必要があり、昨今は売地が出ればすぐに買い手が現れるので、交渉開始は早期になされるべきだと考えます。

議会から葉山町行政に対し、葉山町がトゥモローランドに伝えている意向について以下の内容と状況の確認をしていただきたく陳情します。

- 1)どこからどこまでの道路幅員を、何mに拡幅する要請を行っているのか？
- 2)いつまでに沿道住民の地権者に対してセツバック用地買収の交渉を開始するように要請しているのか？
- 3)上記の要請はどの法令・条例・規則等に基づくのか？

2 陳情の理由

ホテル建設地への進入側も勿論ですが、退出側の町道240号線は幅員3.53mが続き、町道244号線の県道に出る手前のオオノヤ横は縁石や自動販売機が置いてあり幅員3m未満となっています。

大型の車やワンボックス車が県道に出るために停車すると、その脇は人も通れなくなり、災害時の緊急避難において一番危険なボトルネックなので、近隣住民も早期の交渉開始を望んでいます。

令和6年11月20日

